

**平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第1回花見川区役所部会議事録**

1 日時：平成25年7月26日（金）10：00～12：30

2 場所：花見川区役所 2階 講堂

3 出席者：

（1）委員

木頭信男委員（部会長）、稲垣總一郎委員（副部会長）、淡路睦委員、宮葉富繁委員、新田芳男委員

（2）事務局

山田花見川区長、田野地域振興課地域づくり支援室長、石野主査、福澤主任主事、古澤主事

4 議題：

- （1）部会長及び副部会長の選出について
- （2）平成24年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
 - ア 千葉市花見川区畑コミュニティセンターについて
 - イ 千葉市花見川区幕張コミュニティセンターについて
- （3）その他

5 議事概要：

- （1）部会長及び副部会長の選出について
委員の互選により、木頭委員を会長に、稲垣委員を副部会長に選出した。
- （2）平成24年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
 - ア 千葉市花見川区畑コミュニティセンターについて
平成24年度に千葉市花見川区畑コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。
 - イ 千葉市花見川区幕張コミュニティセンターについて
平成24年度に千葉市花見川区畑コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。
- （3）その他
今後の年度評価のスケジュールについて、事務局から説明した。

6 会議経過：

○司会 おはようございます。委員の皆様方におかれましては、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより、平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回花見川区役所部会を開催いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、地域振興課地域づくり支援室の石野と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されております。

なお、現在、傍聴人の方はいらしておりません。

本日は、地球温暖化防止の取り組みの一環としまして、職員は軽装とさせていただきますので、ご了承ください。

それでは、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

初めに、公認会計士でいらっしゃいます、木頭信男委員でございます。

次に、弁護士でいらっしゃいます、稲垣總一郎委員でございます。

次に、ちばぎん総合研究所主任研究員でいらっしゃいます、淡路睦委員でございます。

次に、花見川区町内自治会連絡協議会理事でいらっしゃいます、宮葉富繁委員でございます。

最後に、花見川区公民館運営審議会委員長でいらっしゃいます新田芳男委員でございます。

以上、5名の皆様でございます。

続きまして、事務局職員をご紹介いたします。

初めに、花見川区長の山田でございます。

○花見川区長 山田でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 続きまして、地域振興課地域づくり支援室の職員でございます。まず田野室長でございます。

○事務局 田野でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 次に、福澤主任主事でございます。

○事務局 福澤です。よろしくお願いいたします。

○司会 次に、古澤主事でございます。

○事務局 古澤です。よろしくお願いいたします。

○司会 あと、本日は美浜区の職員も同席しておりますので、ご報告いたします。

○事務局 よろしく申し上げます。

○司会 私は石野と申します。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

着席して進行のほうを進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、花見川区長の山田からご挨拶申し上げます。

○花見川区長 おはようございます。花見川区長の山田でございます。

本日はご多忙の中、委員の皆様方におかれましては、平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回花見川区役所部会にご出席をいただき、まことにありがとうございます。

ございます。また、日ごろより市政に対し、多大なるご支援・ご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、本日の部会ですが、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」に基づき開催するものでございます。評価に当たりましては、市で作成いたしました指定管理者評価シートと指定管理者から選出された事業報告書、財務諸表等の資料により、施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点や財務状況などに対するご意見をいただき、最終的には花見川区役所部会としてご意見を取りまとめて、部長さんからのご報告をもとに選定評価委員の会長より市に対し答申していただくものでございます。

今後の管理運営を適正に行うため、委員の皆様方におかれましては、貴重なご意見と高いご見識により、平成24年度の年度評価を行っていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。まず机上にございます諮問書の写しと、席次表でございます。次に、フラットファイルの資料を確認いたします。

まず、次第でございます。続きまして、資料1「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回花見川区役所部会進行表」、資料2「花見川区役所部会委員名簿」、資料3「花見川区役所部会で審議する公の施設一覧」、資料4の1から4は、千葉市花見川区畑コミュニティセンターの平成24年度の資料でございます。こちらは1から4までインデックスをつけているものでございます。続きまして資料5の1から4につきましては、千葉市花見川区幕張コミュニティセンターの平成24年度の資料でございます。資料6につきましては、「今後の予定について」ということで綴じてございます。

参考資料1といたしまして、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料2といたしまして「千葉市市民局指定管理者選定委員会評価委員会の会議の公開及び議事録の作成について」、参考資料3「部会の設置について」でございます。

以上、お配りしております資料、おそろいでしょうか。不足等がございましたらお知らせください。

それでは、続きまして会議の成立についてご報告いたします。

本日は全委員さんの出席となっておりますので「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項」に基づき、会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。なお、今年度は委員さんが変わっておりますので、部長が決定するまでの間、山田区長が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○司会 ありがとうございます。それでは山田区長、議事進行をお願いいたします。

○仮議長 ご承認いただきましたので、仮議長として会議の進行を務めさせていただきます。

それでは議題1の「部長及び副部会長の選出」を行いたいと思います。

部会長の役割といたしましては、本部会の議長を務めていただくほか、部会の招集、議事録の承認、部会での議決事項を選定評価委員会での会長への報告など、部会の事務を掌理していただきます。

副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理していただきます。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第4項」に基づき、互選により選出となっております。どなたか立候補または推薦をいただける方はいらっしゃいますでしょうか。

○委員 委員が昨年から委員長をされているのであれば、続けていただくのが妥当かと思いますが、いかがでしょうか。

○仮議長 ただいま委員より、木頭委員を部会長にとのご推薦をいただきましたが、委員の皆様、いかがでしょうか。

(異議なし)

○仮議長 それでは他に意見がないようで、木頭委員を部会長として決定してよろしいでしょうか。

(異議なし)

○仮議長 それでは木頭委員に部会長をお願いいたします。

ここで部会長さんより一言ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

○部会長 確かに昨年花見川区の部会長をやっておりますので、引き続きやらせていただきたいと思います。

○仮議長 よろしくをお願いいたします。

それでは、部会長が選出されましたので、ここで議長を部会長と交代したいと思います。よろしくをお願いいたします。

○司会 区長、お疲れさまでございました。区長におかれましては、この後、ご公務がございましたので、ここで退席となります。ありがとうございました。

○花見川区長 本日はよろしくをお願いいたします。失礼します。

○部会長 それでは、次第に従いまして、議事を進行してまいります。ご協力のほど、お願いいたします。副部会長の選任をいたします。

○部会長 副部会長は、稲垣委員を副部会長に推薦したいと思います。いかがでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは副部会長から、一言ご挨拶をいただきたいと思います。

○委員 ただいま副部会長に指名された稲垣です。よろしく申し上げます。部会長の補佐として務めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○部会長 それでは、議題2の(2)「平成24年度の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について」に移ります。

まず、指定管理者が行った施設の管理に係る評価について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、評価の概要について私から説明させていただきます。

まず、評価の目的でございますが、これは指定期間中の各年度終了後に履行状況の確認を行い、また、選定評価委員会への報告をすることによって、委員の皆様からの意見を聴取する機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うため、実施するものでございます。

次に、評価の方法でございますが、まず市が指定管理者による自己評価や指定管理者からの報告書、また現地視察、ヒアリング等を通じて行ったモニタリングの結果を踏まえ、指定管理者評価シートを作成いたします。なお、評価シートの内容については、畑コミュニティセンターのものを例に説明させていただきます。

こちらのフラットファイルの資料4-1をご覧ください。施設によって若干様式が変わることはございますが、評価シートは大きく六つの項目で構成されております。

まず1番目に「基本情報」。2番目に、「主な実施事業や利用状況」、収支状況などの管理運営の実績。3番目に「指定管理者が行ったアンケートの調査の結果」など、利用者ニーズ・満足度等の把握。そして4番目に「指定管理者による自己評価」。5番目に、市が履行状況を確認し、評価を行う「市による評価」。最後に6番目として、評価委員会から答申していただいた意見を掲載いたします「市民局指定管理者選定評価委員会の意見」となっております。さらに、委員の皆様からご意見等をいただくにあたってポイントとなります市による評価の履行状況の確認欄については、補足の説明をさせていただきます。

こちらには募集要項、管理運営の基準、基本協定書、提案書で定められている仕様のうち、市による定期的な確認が必要な項目が記載されております。モニタリング等により、この確認事項の履行状況を確認し、その結果を仕様、提案を上回る結果があった場合は3を、仕様、提案どおりの実績・結果があった場合は2を、仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった場合は1を記載する、3段階で評価しております。この、市で作成した指定管理評価シートと指定管理者から提出された事業報告書、財務諸表等の資料をもとに選定評価委員会により、当該指定管理者による施設管理者、施設管理運営のサービス水準向上・業務効率化の方策、改善を要する点や指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、当該指定管理者の財務状況などに対するご意見をいただくものでございます。

最終的に、そのご意見等の中から部会としての意見を取りまとめでいただき、それを部会長より選定評価委員会会長に報告の後、委員会会長より市に対して答申をしていただきます。

なお、答申していただきました意見は、先ほどご説明させていただいたとおり、評価シートの6の市民局指定管理者選定評価委員会の意見欄に掲載されます。

また、評価結果の取り扱いでございますが、答申をいただいた評価、委員会の意見を付した年度評価シートをホームページ上で公開するとともに、指定管理者による管理運営の改善、効率化に向けた取り組みの促進のため、その評価結果を当該指定管理者に通知することとなっております。

以上でございます。

○部会長　ただいま施設所管課から説明がありましたが、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することとなっておりますので、私のほうから指定管理者の財務状況等について説明いたします。

資料４－４の決算書類がございます。そのすぐ下に貸借対照表が書かれております。この貸借対照表を拝見しますと、負債合計が１０億、それから純資産の額、自己資本が６億ですから、貸借対照表における財務の安定性は非常にあると思います。ただ、売掛金が５億と投資有価証券が約６億６，０００万。このバランスが若干悪いとは思いますが、これは我々が内容を精査することができないので、これを妥当なものとして判断して財務の安定性は一応いいという判断をいたしました。

それから次に損益計算書について、この会社全体の売上が６０億。税引き後の利益が１億ということですから、アクティオ株式会社は上場企業に類するような非常に、いい会社だということは言えます。

ただ問題なのは、当該事業の問題ですが、資料４－３にある、２４年度の収支決算書ですね。これを見ますと、収入合計が４，８６７万、それから支出合計が４，９５１万として、一応マイナスという数字になっていますね。これだけいい会社がこの事業を請け負ってマイナスになるということは、ちょっといかなものかと思っております。その原因が、管理費のうちの一般管理費、これが７２６万。これは本社の人件費などに該当すると思いますが、その妥当性を区役所のほうで検討する必要があると思えます。

以上です。

何か財務諸表についてご質問はありますか。

○委員　大体同じような考えなんですけども、結局、企業本体の収支は、投資有価証券とか内容はわからないけど、一応それを信用。しかし、この本件について、ずっとマイナスなのか、この年だけマイナスなのか。部会長がおっしゃったように、ずっとマイナスだったら、年度の収支予算の作成について考える必要があるのではないかと。

○事務局　平成２３年度の収支実績について、こちらもマイナスということが出ております。

○部会長　私はこれに関して一般管理費を多くして、マイナスに恣意的にしているのではないかと、そのように考えてしまいます。いかがでしょうか。

○委員　私、駐車場みたいなところは、様々な理由でマイナスが考えられますが、ここはマイナスでやるメリットというのは考えにくいですけどね。

○事務局　そうですね。畑コミについては有料駐車場とかもちろんない状況で、施設内に何台かとめられるのを設けておりまして、これから駐車場については有料化というのは多分出てくると思いますが、諸室についても、平成２３年度から有料化を行っておりまして、そこから比べると、平成２３年度については８８万２，０００円、収支実績が赤字になっている状況で、今回は９０万１，０００円の赤字が出ているような状況なんですけど、これはやっぱり利用収入、諸室の収入がある程度影響してきていると考えられます。

あとは自主事業ですね。自主事業で、そもそもコミュニティセンターを利用するに当たって、幅広く使っていただくために、会社としても自主事業については結構力を入れているところがあります、本来であれば使う場合に利用収入などを見込んで実施しますが、やはり事前投資みたいな考え方が多分あるものと思われまして。

○部会長　私は自主事業の赤字について、最終的にアクティオが負担するので、全く問題ないと考えますが、一般管理費の配分を少し、過大に配賦することによって、わざと赤字を出して、千葉市に対する還元をやめようと、そういう感じにも受け取れます。

○委員 参考までに平成23年度の一般管理費の費用を聞かせてください。

○事務局 一般管理費については、決算については2,048万6,000円です。

○委員 平成24年度でいうところの726万円に該当する部分は。

○事務局 平成23年度は、714万2,004円です。

○部会長 ほとんど同じぐらいの金額ですね。

○事務局 はい。

○部会長 この平成23年度、24年度の、一般管理費の計上根拠というのは何かあるんですか。一般管理費の計上根拠、積算はわかります。

○事務局 一般管理費の計上根拠ですか。この金額ですが、一番初め、提案書の段階で計画が決められている予算となります。

○部会長 その際から計上していた。

○事務局 そのとおりです。毎年毎年これが変わっていかない予算で組んでいって、結果どうなるかっていう話になります。予算額というのは毎年変わらない予算を組んでいます。

○部会長 その予算を変更することはできないですか。

○事務局 初めの提案の段階での予算なので、ずっとそれを変えていかないという、方法をとっていますが。

○部会長 初めの提案のときに、その積算の数字が提示されたということですか。

○事務局 そこまではわかりません。一般管理費の内訳を、どのように積算したかですよね。

○部会長 そうですね。本社費用をいろんな事業に配賦しているとは思いますが、どういう配賦の仕方をしているのかが一応問題になると思います。ただ、向こうの数字がある程度基準があって、それを市役所のほうで検討して納得したということであれば、それはそれで問題ないと思いますが。

○事務局 そうですね。選定する段階で基本的に確認するのが普通だとは思っていますが。その際に確認したかどうかは。

○部会長 それを確認したかは解らない。

○事務局 そうですね。その際に細かく一般管理費の内訳を確認したかという話ですよね。

○部会長 そういうことです。

○委員 一般管理費には、本社経費でありマージンをとっているのは普通と考えられますので、そこまでの確認は不可能ではないですか。

○部会長 そうですが、だから本当の一般管理費と利益とを区別してほしいということ。

○委員 正々堂々と利益はとっていいからというようなことですね。利益部分を一つも計上しないでやっているから、かえって分かりづらいのですね、結局。

○部会長 それで、利益の金額がはっきりわかれば、それは利益の分配の話もできると思って、市役所に何%還元しようとか。次の募集は何年後。

○事務局 平成27年度です。

○部会長 とりあえずその平成27年度には、その辺の検討もどうしても必要じゃないかと考えます。

○委員 一般管理費の配分だとすると、それぞれの会社によっていろんな積算方法があると思いますから、統一するっていうのは難しいと思います。

○事務局 そうですね。この一般管理費が本社の経費という、人件費みたいな感じですから。

○部会長 まあ、それが妥当であればいいと思います。他に財務に関して何かご質問ございますか。

(なし)

○部会長 ないようでしたら、次に、指定管理者の施設管理費運営のサービス水準向上、あるいは業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに委員の皆様がご意見を伺いたいと思います。

○事務局 すみません。その前に指定管理者評価シートについて説明をさせていただいてよろしいでしょうか。

○部会長 はい。

○事務局 では、指定管理者評価シートについて、ご説明させていただきます。資料のは4-1になります。平成24年度指定管理者評価シートです。こちらは畑コミュニティセンターの資料になります。今の財務諸表の説明も畑コミュニティセンターになります。

まず1ページ目、1の基本情報ですが、指定管理者はアクティオ株式会社。指定管理期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、2、管理運営の実績についてでございます。まず(1)主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ごらんとおりでございます。特に10月20日に行われたコミュニティまつりでは、多くの近隣住民の方にお越しいただき、大変盛況でした。②自主事業につきましては、年間で35事業行われており、主な事業はごらんとおりでございます。詳細につきましては、評価シートの次のページに添付してございますので、ご確認ください。

特に、7月31日に行われた夏休み子ども1日教室では花見川区内在住の小学生とバスでつくば宇宙センターや茨城県自然博物館を見学し、夏休みの宿題、これは特に自由研究や絵日記等に活用され、よい思い出になったという声をいただいております。この1日体験教室ではさまざまな施設を見学するとともに、集団行動のルールやマナー、こういったものもあわせて学ぶことを目的としております。

次に、(2)利用状況につきまして、平成24年度の諸室、体育館の利用者数は4万4,299人で、前年度比111.4%となっております。稼働率につきましては、22.7%と昨年度より1.8%プラスとなっております。平成23年度より料金徴収が始まり、平成24年度は2年目を迎え、稼働率が前年に引き続きプラスになったということは、評価しております。

次に、(3)収支状況につきまして、これはちょっと先ほどお話が出ましたが、①収入実績の表2段目、利用料金収入、こちらのほうは382万4,000円と計画額の81.1%となっており、収入合計は4,891万2,000円と、計画額の98.2%となっております。全体の収入実績は計画に対してマイナスの90万1,000円です。

次に、(4)指定管理者が行った処分の件数、これは施設の貸出における許可の件数ですが、ごらんとおりです。

次のページ、（５）市への不服申立て及び（６）情報公開の状況については、ございませんでした。

次に、３、利用者ニーズ、満足度の把握。まず（１）指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてですが、アンケート調査は２回行われており、コミュニティセンターの利用に関することを中心に行われております。こちら括弧内の数字が１回目の数字となっております。調査の結果としては、スタッフの対応について、これは大変満足・満足が１回目７１％、２回目が７８％。不満足・非常に不満足が１回目０％、２回目１％と、よい評価をいただいております。

次に下の欄、③です。アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応をごらんいただくと、施設設備の問題や清掃・実施事業に関してのご意見をいただいております。

施設の設備については、空調のご意見が幾つかございました。畑コミュニティセンターでは空調設備の老朽化もあり、冷暖房が非常に効きにくい状況となっております。このため、平成２４年度はスポットクーラーの導入、また熱中症対策のため、ウォーターサーバー、こういったものを設置して対応しております。

清掃については、定期清掃のみでなく、管内チェック時にも確認し、徹底した清掃を努めるように現在も対応しております。

また、実施事業につきましては、事業終了後アンケート調査を行い、より魅力ある事業を行うとともに、ポスターなどによるＰＲも積極的に行っていくということでした。

次に、（２）市に寄せられた意見、苦情ですが、ごらんのとおり４件寄せられております。１件目が、本館玄関前のスペースに駐車ラインを引いてほしいという要望です。こちらのほうは消防法上、そこが非常用進入口として決められておりますので、駐車ラインを引くことができないということで、ご説明と掲示をしております。そのほか、体育館の利用に関しての要望が出ておりますが、管理者との協議の上、対応をしております。

次に３ページ目です。４、指定管理者による自己評価。こちらは利用しやすい環境づくりとして先ほど説明したようにスポットクーラーやウォーターサーバー、こういったものを初め、館内の飾りつけ、サークル作品の展示などを行っていること。あと自主事業の充実を図っていること。地域との連携にも力を入れたことを自己評価しておるようです。

それでは次のページです。４ページ、５、市による評価ですが、評価のほうは３段階の評価のうち、真ん中であります「Ａ」としてしております。理由といたしましては、利用者数や稼働率については前年に比べて良化していること。自主事業については、さまざまな企画を行い、近隣との連携やポスターの作成なども努力していること。コミュニティまつりでは、近隣の住民や団体、サークル等と一丸となり実施され、地域のお祭りとして非常に盛況であったこと。その他、管理運営の執行や設備・備品の管理についても計画どおり行われているためでございます。

履行状況については、ごらんのとおりでございます。今回、評価を「３」とした項目、これは「３」というのは仕様、提案を上回るような実績や効果があったという評価ですが、全部で３項目つけてあります。評価を「３」とした項目は、４ページ目の中段。市からの受託事業のコミュニティまつりの実施で１項目。次のページ、５ページ目の中段。自主事業の効果的な実施においては２項目を評価しております。自主事業の２項目については、

寄席や民話を楽しむ会、おしゃべりマジックショーなど、特色のある事業や夏休み子ども一日教室を初め、折り紙教室、竹とんぼ教室、凧作り教室など、子どもを対象とした事業。また、絵手紙教室や太巻き寿司講習会、味噌づくり教室など、高齢者の方も楽しめるような事業など、さまざまな事業を展開していることを評価しております。

その他の項目については、概ね仕様、計画どおり、実績・効果が認められ、管理運営が良好に行われておりますので、全て「2」と評価しております。

したがって、5ページ目の一番下、評価の平均点は2.0点となっております。

ちょっと駆け足でしたが、評価シートの説明は以上でございます。

○部会長　ありがとうございます。ただいまの事務局の指定管理者の施設管理運営サービスについて、何かご質問がありますか。

○委員　運営についての質問じゃないのですが、障害者の雇用がなかなか難しいと思いますが、具体的にどういう障害の人をどういう仕事をお願いしているのか。

○事務局　1名採用されておりますが、ごみを拾ったり、コロコロで絨毯のごみをとったりするのを、館内をくまなく実施しています。他は雑務みたいな形で、スリッパの掃除収納、職員と一緒に簡単な作業を行うなどをやっております。よく見かけるのは、本当にコロコロでずっと回って掃除しています。やっぱり下が絨毯とかですと、糸くずみたいなのが出てくるので、そういうのを取ったりしています。

○部会長　じゃあ私から。資料4の5ページですが、経費削減の努力、これは節電等の実施ということは、これわかりますけれども、ほかに何かやっておられるところはないですか。

○事務局　基本的にはやっぱり電気というのは非常に大きい比率を占めております。これは確かなもので、ただ、やっぱり施設が古いので、余り弱くしてしまうと全然空調が効かないという状況があったりします。その他は、小破修繕や消耗品関係の対応ですね。なるべく使わないようにする、裏紙を利用する、自分達でできるものは自分たちで行うとか、そういった細かいことではありますが、実施していることは確認しております。

○部会長　アクティオさんの、ここに携わる人件費の削減とか、そんなことはないですか。

○事務局　人件費自体に関しては、削減されているかどうかというのは、確認しづらい話ですが、先ほど言われたように、障害の方を雇うと結構な負担がかかるというのは仕方ないのかなという気はしております。あと、比べてしまうのはよくないのですが、畑と幕張を比べると、畑のほうは所長、副所長、合わせて3名で対応していますが、幕張は2名で対応しているという違いはあります。

○部会長　頭が少ないほうがいいのでしょうかね、それは。

○事務局　人件費だけを考えればそうですが、必ず責任者のな方が施設にいなければならない事になっており、幕張はそれに続く人が1人、設備等の担当行っている状況です。畑はその3人が回している状況です。

○部会長　他にご質問ございますか。

○委員　サービスの向上ですが、今の資料4の2ページの中段のところに②として、利用者ニーズ満足度の調査結果というのが出ています。それで、アイウのウのスタッフの対応というのが、大変満足と満足を足すと78%、あるいは71%。大変高い数字だなと思います。ここはすばらしいと思いますが、市の評価シートにいきますと、4ページなんで

すが、下のほうの（２）のところにサービス向上という評価項目がありまして、利用者サービスの向上という評価があり、ここでは、電話窓口等でも丁寧な対応とか、清潔な服装、身だしなみなど項目があって、「２」という評価になっています。

例えば、アンケート項目の設問を全部のコミュニティセンターに共通の設問を設けることによって、ほかの利用しているコミュニティセンターの評価との比較ができるようになれば、このところで何％以上になれば「３」という感じに、もっと評価の変化をつけられるのかなと思います。恐らく、きちんと所長、副所長が指導しているとか、丁寧な対応が実施されているかどうか、毎日の会議で確認しているというレベルですと、よさがきちんとあらわれないなと思うので、こちらは大変評価が高いので、それがあらわなくて残念だなと思います、先ほどのような共通のアンケート方法によって評価がされるといいと思います。

○事務局 アンケート項目についてですが、今ここに出ている項目自体は、各コミュニティセンター共通のものでやっておりますので、委員が言われたようなことは、可能と思われま。そちらのほうは、事務局より指摘というか、提案しておきます。

○委員 お願いします。もう１点、よろしいでしょうか。

○部会長 どうぞ。

○委員 今の評価シートの４ページのところですが、一番上の市による評価の所見のところの下から３行目。「広報範囲が少し狭いと思われる現状でも畑、瑞穂地区が中心」と評価されていますが、市ではどのぐらいの範囲を理想的と考えているか、それから、先ほどのアンケートについてですが、「どこから来ましたか」という項目がもしあるとすれば、どんな方がコミュニティセンターまでいらしているのかというのがわかると思いますので、それに沿ってお知らせしていくというのが効果があると私は思っているんですけど、いかがでしょうか。

○事務局 畑コミュニティセンターの回りは本当に田舎というか、住宅がほとんどないというか、昔ながらの大きいお家がある感じで、駅の近くであったり、団地があったりという場所とはちょっと違います。

ですので、畑地区だけに広報しているだけでは、利用率というのは上がっていかないと考えています。現在は、花見川区役所の近くである瑞穂地区にも広報を行い始めていますが、チラシなどの配布は行っておりませんので、この瑞穂地区、もしくは隣の朝日ヶ丘地区、車で来られて、駐車場が５０台ほどありますので、車で来られる範囲で近い方の地区まで広げてもいいと考えています。ただ、チラシをまくのにどこの範囲まで広げる必要があるのかとかは、ちょっと考えているところではありますが、ポスターなどの掲示に関してはそういうところまで広げていってもいいと考えておりまして、指定管理者とも話をしている所ではあります。

○委員 場所からいうと、要するに従来の集落中心になって、団地系の人はいあまり集落の中には入りづらいというような気持ちもあるのですかね、場所的に。

○事務局 そうですね。少々離れているイメージと、やはり気持ち的にも高速道路があって分断されている感覚はあると思いますので、そこを越えて来れば、畑コミュニティセンターがあるというような広報をしていただきたいなと感じています。非常に力をかけて広報のポスターを作成していますので、もっと広範囲で頑張ってください。

○委員 確かに畑地区っていうのは、地域性が非常に強いですね。ですからコミュニティまつりでも、すごい一体化したような形で行われています。そういう意味で、それ以外まで手を伸ばそうということまで余り感じてないような印象は確かに受けますね。

○委員 地域に密着しているから、逆に地域じゃない人は行きにくいっていう、そういうことですか。

○委員 そういう意味じゃ、先ほどの範囲までをカバーするかという、もっと広げる努力も必要じゃないかという気はいたしますけど。

○事務局 畑のコミュニティまつりは、本当に「地元のまつり」という形で、委員が言われたように、すごく盛り上がっています。ただ、利用率をこれから上げていくという事を考えると、区としては、やはり畑地区だけではちょっと足りないかなという気がしているので、もうちょっと何かを、もう一步踏み込んで何かをやってほしいと考えています。

○委員 難しいですよ。ターゲットを、まあ何でも、ターゲットというのは要するに畑地区でない方々、先ほど言われたように、団地など遠くまで広げたら、広がるんですが、そのかわり地元の人が余り来なくなってしまうとか、逆に地元の交流の場、畑コミュニティの色が薄れてしまうかもしれません。

○委員 広げるとどっちつかずになるかもしれませんね。

○部会長 市としては、まだ現状では利用率が足りないと、そういう認識をされているわけですか。

○事務局 そのとおりです。もう一步上にいけると思っていますので、希望も含めて。

○部会長 わかりました。

○委員 もう一つよろしいでしょうか。

○部会長 どうぞ。

○委員 今、地域に目指したというふうにありましたが、市の管理シート、評価シートの3ページのところで、指定管理者による評価というのがありまして、私が大変おもしろいなと思ったのは、4番の畑コミから小中学校の入学式、卒業式への館長さんが出席というのがおもしろいなと思いました。

○事務局 そうですね。館長さんは必ず呼ばれますね。目の前が小学校で、よく連携といういろいろな協力合っていますので、例えばテント貸したり、場所貸したり、駐車場も貸してあげたり、様々な交流を図っています。そういった意味では、目の前に小学校があって、目の前にコミュニティセンターがありますので、小学生が非常に多く遊びに来てくれているというのがあります、そういったところで交流じゃないですけど、交流を深めて利用率アップをはかっていただければと区では思っています。

○委員 同じ資料4の指定管理者地域連携実施調査で連携実績が13ありまして、これもとても多いのかなと。

○事務局 区としては、色々な地域、団体と連携していただきたいという事を非常に強く思っておりまして、畑と幕張、双方に言っております。ただ、畑と幕張では、連携する団体の特色があり少々違う状況になっております。幕張ですと学校関係、大学生が多いようです。畑コミは自治会など地元の団体と目の前の畑小学校などと連携をしております。区としてはこういった連携をすることによって利用率を高め、地域コミュニティの形成にも役立てると考えています。今回、指定の資料だけではこのような内容が確認できないの

で、別に一覧表を作成させていただきました。

○部会長 他に何かご意見ございますか。委員、何かございますか。

○委員 資料をみると、頑張っている事は伝わってきます、あえて言うなら人員の配置等の中で職員の採用についてですが、畑地区とはいいませんが、千葉市とか花見川区とか、そういった地元からの採用はあるのですか。

○事務局 評価シート4-1の4ページ目で、中段に雇用の考え方という項目があります、基本的に市内の方が何人中何人いるということをここで記載しております。市内雇用は13人いるうちの12人、障害者の方を1名雇用、女性が13人のうちの9名ということになります。住んでいる地区まではわかりませんが。

○委員 まあ千葉市には住んでいる人がほとんどという事ですね。

○事務局 そのとおりです。副所長は畑地区にお住まいです。

○部会長 この所長1名と副所長の2名というのはどのような仕事をされているのですか。所長1名、副所長2名、どんな関係になっておりますか。

○事務局 施設の管理者として、施設全体の管理はもちろんのこと、市との調整ですね。例えば、先ほどの自主事業に関する事、地域連携に関する事など、毎月館長さんから報告をいただいております。その内容を確認した上で指摘をしたり、提案をしたり。それを実施するかしないかを館長さんたちは話し合いをし、施設の運営をしております。館長さんたち3名いますが、それぞれある程度の担当が決まっていて、館長さんは統括的な立場ですが、副館長さんが自主事業の担当になったり、運営の担当であったり、他に設備の担当だったりという形で対応されています。

○部会長 副館長を1人にするわけにはいかないですか。

○事務局 1人ですか。基本的に管理者が誰かいてくださいという形になっています。今は3人いて3交代という形でやっておりますので、区としては、会館時間中に責任者がいない状況より、現在の方が望ましいと考えています。

○部会長 3交代というのは、夜間はないでしょう。

○事務局 夜間は9時までです。朝の9時から夜9時まで。

○委員 この3名は、いわゆる正社員というか、そういう位置づけですか。

○事務局 そのとおりです。他はアルバイトさん、パートさんです。

○委員 常に誰か1人はいないといけないからこのようになっているという。

○事務局 そうですね、交代制で。設備さんも別にいますけど。

○委員 所長、副所長など、要するに正社員が必要だってこと。

○事務局 そういうことです。つねに対応できる正社員みたいな方が必要と考えています。

○部会長 スーパーなんかは店長1人で、あとはみんなパートさん等、ここはそういうわけにはいかないですか。

○事務局 区役所側としては誰かがいてほしいというのは当然ありますが。

○部会長 普通は所長1人では不十分ということですね。

○委員 指定管理者制度っていうのは、いい面もありますが、非正規雇用ばかりふやしているんじゃないかという、そういう社会議論もありますからね。市のほうからアルバイト、パートを増やせというの、ちょっと問題があるんでしょうね。

○部会長 何かほかにご意見ございますか。

(なし)

○部会長 ご意見がないようでしたら、意見の交換は終了ということで、意見の取りまとめを行います。10分ですか。

○事務局 10分休憩ということで、11時10分からスタートしたいと思います。その間、事務局で今のご意見を取りまとめたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○部会長 よろしく願いします。じゃあ11時10分スタートで。

(休憩)

○部会長 それでは、再開したいと思います。

今、事務局のほうでまとめていただいたものを、私のほうで読み上げます。

第1番目、次回の管理選定の際に、一般管理費の内容を確認し選定する必要がある。

2番目、経費の節減(節電、資源の節約、人件費の削減等)について、もっと力を。

3番目、アンケートの項目を全コミュニティセンターで統一し、その結果で評価したらどうか。

4番目、広報範囲について、もう少し広げ、利用者数、稼働率の向上に努力すること。

5番目、財務諸表について、有価証券等のバランスが悪いが、会社撤退等のリスクはない。

以上の点を事務局に取りまとめていただきましたが、何か他にございますか。

(なし)

○部会長 次に花見川区幕張コミュニティセンターについて、所管課から説明をお願いします。

○事務局 それでは、評価シートを説明させていただきます。資料は5-1になります。

平成24年度指定管理評価シート、幕張コミュニティセンターになります。1ページ目、基本情報ですが、指定管理者は三菱地所コミュニティ株式会社。指定管理期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、管理運営の実績についてでございます。まず1、主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ごらんとおりでございます。幕張コミュニティセンターは10月13日、14日と2日間行われたコミュニティまつりでは、サークルの活動の発表、また、サークル活動の展示、こういったものを行ってコミュニティの利用者が中心となり、行われており、盛況でした。

②自主事業につきましては、年間で30事業実施されており、主な事業はごらんとおりでございます。詳細につきましては、先ほどと同じように評価シートの次のページに一覧表として載せてあります。特に幕張コミュニティセンターでは、サークルの発表などを絡めた事業の実施、近隣の学校などと連携を密接に取りながら自主事業を行うなど、施設利用の促進につながるような事業を展開しております。

次に(2)利用状況につきましては、平成24年度の利用者数は9万8,225人で、昨年度比116.1%。稼働率については37%と、昨年度よりも9.1%のプラスとなっております。稼働率は先ほど畑コミュニティセンターの際に説明したとおり、平成23年度を基準に考えても、非常に高い伸び率と言えます。市内のコミュニティセンターの伸び率に関しては、平均が2.5%であるということを見ると、この9.1%という数字

は、非常に評価しております。

次に（３）収支状況につきましては、①収入実績の表２段目、利用料金収入が９２２万４，０００円と、計画額の１１９．７％となっており、平成２３年度に続きまして、平成２４年度も１２７万円ほどの還元が予定となっております。参考に昨年度は１１１万７，９００円でした。全体の収支実績は計画額に対してプラスの９７万９，０００円となっております。

次のページ、２ページ目の（４）指定管理者が行った処分の件数、これは先ほどと同様、施設の貸出における件数ですが、ごらんとおりです。

次に（５）市への不服申立てについては、ちょっとこちらのミスで件数入っていませんが、０件になっています。

（６）情報公開の状況についても、請求はございませんでした。

次に３、利用者ニーズ・満足度の把握の（１）指定管理者が行ったアンケートの調査の結果についてですが、アンケート調査は先程と同じく、２回行われており、コミュニティの利用に関するを中心に調査しております。内容としてはスタッフの対応に関して、大変満足・満足が、１回目が６４．１％、２回目６６％。不満足・非常に不満足が、１回目１．５％、２回目が１．５％と、概ねよい評価をいただいております。アンケートにより得られた意見については、自主事業に関することや備品や設備に関する要望が結構多く挙げられております。自主事業に関してはさまざまな事業を要望されており、指定管理者側で内容を精査した上で事業を実施するということでした。その他、備品や設備に関する要望も指定管理者でできるもの、市と協議するものなど、実施に向けて検討をしております。

次に、３ページ目、（２）市に寄せられた意見、苦情ですが、ごらんとおり２件寄せられております。バドミントンコートの増設に関しては、できる範囲で行うということを確認しております。他の意見としては自動販売機の販売金額について。こちらは現状では対応は厳しいものですので、ご理解をいただくよう掲示させております。

次に、４、指定管理者による自己評価につきましては、地域の連携に力を入れていること。館内装飾や図書室の充実、備品の購入などの取り組みにより、サークル数の増加、そして稼働率が向上したことを自己評価しております。

続きまして、４ページ目、５、市による評価ですが、評価は３段階評価の真ん中であり「Ａ」といたしております。理由としては、平成２３年度に引き続き、２年連続１００万円を超える利益還元があったこと。諸室の稼働率が３７％、前年度比９．１％増という、数値的にも優秀であること。稼働率の向上を図れた理由として考えられるのは、施設運営のソフト面に力を入れているものと考えています。お客様を迎える職員の接客や施設の装飾を初め、備品や図書の充実、また近隣施設との連携に関しては、地域の大学を初め近隣の小学校や企業との連携が挙げられます。大学生のサークルの増加、小学生の自主事業の参加率、こういったものが数値につながっていると市では考えております。

履行状況の確認につきましては、ごらんとおりになります。今回、幕張コミュニティセンターで「３」をつけた項目は全部で７項目となります。先ほど説明したとおり、評価の「３」というのは、仕様、提案を上回る実績・効果があった場合となっております。今回「３」とした項目としては、４ページ目の一番下、近隣施設との連携、次のページ、

5 ページ目の上段、利用者サービスの向上から 2 項目、その下、利用者支援から 1 項目、中段の利用促進から 1 項目、最後に自主事業の効果的な実施から 2 項目を評価しております。この中で自主事業の効果的な実施の中に、事業リーダー制度について、これはこの指定管理者独自の取り組みで、各職員、これは非常勤職員も、パートさんとかアルバイトさんも含めてなんですが、それぞれ自主事業に担当を置くという形で担当を持たせ、その方に企画から運営・調整、また職員が講師を務めるなど、このように担当職員のやる気をアップするというような形でこの取り組みを評価しております。

その他の項目については、概ね仕様、事業計画どおりの実績・効果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたので、全て「2」と評価しております。

したがって、次の最後のページです、6 ページ目。全ての項目の評価の平均点は 2.1 点となっております。

指定管理評価シートの説明については、以上でございます。

○部会長　ただいま所管課から説明がありましたが、今年度の指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することになっておりますので、私のほうで三菱地所コミュニティ株式会社ですか。その決算書についてコメントいたします。

4-4、最初に決算書類について、第 4 6 期平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの決算書類です。次のページに貸借対照表があります。これは千円単位なので、畑コミュニティとは桁が違いますが、負債総額が 4 億 7,700 万。純資産総額が 6 億 1,000 万。これは負債よりも純資産のほうが圧倒的に多い状況です。借方も繰延税金資産というような特殊な言葉で、以前の損失額を、一応これを利益が出た場合に使えるということで、こういうふうな勘定科目を使っており、特に問題はありません。まして、これは三菱地所の子会社でしようから、全く問題ないと思います。

次に、損益計算書がございますので、これが売上総額 3 億 2,000 万ですか。売上額が 1 億 6,000 万、売上総利益が 1 億 4,000 万、当期の純利益が 1 億 5,200 万ということは、やはり相当、上場企業に準じた業績を掲げております。

ただ、会社自体はこれでいいですが、こちらの実績ですね。三菱地所コミュニティの収支予測ですね。これが資料 5-2 の真ん中あたりにありますが、大筋をちょっと見ますと、収入合計が 4 億 8,799 万 6,000 円、支出の合計も 4 億 8,799 万 6,000 円。ということは、ちょうど収入と同額というのは、何か調整しなければということにはならなくて、多分、やはり一般管理費で調整をしている。実際に毎年利益が出ているという状況でありながら、こういう予算を組むというのがあんまり、予算の組み方がおかしいのではないかというような感じがします。財務諸表について何かご意見はございますか。

○委員　先生が今おっしゃったのは、予算の段階で収入と支出が同額であるべきではないということですか。

○部会長　そうです。今までの実績も当然、利益がありますから。

○委員　最初からここに利益を乗せておくのが自然ではないかということですね。

○部会長　そうです。多分、予算を組む際、利益が出たから市役所のほうに還元されると、そういうような意図があるのではないかと私は思っています。どうでしょうか、その辺は。

○事務局　初めの予算組みというのは先ほど説明しましたが、当初の提案の段階で、5

年間の予算を決めているような形になっておりまして、何年か続けていくと、どうしても実態と合わなくなる場合が出てきてしまうのかなという気はしております。

○部会長 最初決めたとしても、その都度、実績に応じて予算を多少組みかえることも可能ではないでしょうか。

○事務局 それを実際にやっていいのかどうかというのは不明ですが、初めから、利益還元に関しても、提案の段階でこの金額よりも収入があった場合にはこれだけというふうに初めに決めてしまっているのです、予算もそれで組んでいる状況です、5年間予算組んでいる状態です。どうしても合わなくなってしまうというのは、あるかもしれないですね。

○部会長 やはりそれは、実績に応じて予算自体を変えていったほうがいいのではないかと思います、いかがでしょうか。

○事務局 先ほども事務局からお話ししましたが、申し込む時期に、指定管理者選定の段階で5年間の実施計画を提出させ、その計画をもとに一定の条件を上回った場合には還元するというルールを決めておりますので、これについても先ほど畑コミのほうでもちょっとお話があったように、人件費、一般管理費と同様にその辺も含めて次回の募集のときに検討をしていくと。

また今、部会長のほうからおっしゃったように、これだけ純利益が上がっている中で、実際予算にそれをまた組み込んでいったらいいかという手法も、そこもあわせて次回の募集のときにそれを反映させるということも含め、今の段階でその純利益を盛り込んで、予算を組めるかといったら、すぐにはできないと思いますので、次回に反映する格好で対応のほうは考えていきたいと思います。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、次に、ただいま説明していただいた指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務の効率化の方策、また改善を要する点について、指定管理者評価シートをもとに、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

何かご意見ございますか。

○委員 先ほどの畑コミュニティセンターと幕張コミュニティセンターは同じ、全体の評価は「A」。この127万円の利益還元というものがあつたとしても、なかったとしても「A」というのは。前回も同じような意見が出たかと思いますが、評価の限界がありますね。

○事務局 前回も委員等からも同じような、ご指摘を受けているんですが、これは、もともと計画値が、要は募集の段階では低い状況で提案書を出されていまして、その中で還元が生まれているというところがありますので、一概に還元が出たからといって、評価を「S」にするか、「S」にした場合に、翌年度さらにハードルが上がるのではないかと話も前回お話しされた点だと思います。

ですので、なかなか「S」にする理由が、概ね指定管理、管理者制度の中で、もちろん施設の管理っていうのが大前提にあります。そこがもちろん計画どおりにできているかどうかというところを見ながら、評価のほうをしていかななくてはならないというところで、ここは歯がゆいところですが、還元が出ているから、「S」にするとは考えていません。また還元の方法はそれぞれコミュニティセンターで違います。例えば畑コミは、利益が出た場合、備品や修繕などで還元する方法です、もともと建物が古いところの関係もありま

すので、そのような方法で返していきます。

○部会長　確かに、予算の組み方ですね。かなり利益を低くした予算を組めば、当然、実際の利益が上がってきます、果たしてそれを「S」にしてよいかどうかというのは、やはり疑問のところですね。

○委員　もう一つ、3段階評価にちょっと無理があると思います。5段階評価ぐらいにすれば、もう少し評価がきめ細かくできるのではないかと考えられるのですが、3段階にした理由は何がありますか。

○事務局　これは、市役所で定め指定管理選定委員会で、基準を同じように統一は図っていると思います。ですから、これは毎回、評価委員会の中で3段階の意義というのはちょっと問われています。そこについては区独自でできるものではないので、市役所でも3段階の評価方法について、検討はされているということ、私も聞いております。

次回、新しくまた募集する段階で見直しもかけるのではないかなと思います。

本来、1段階、2段階、3段階の中で、例えば点数制で何点以上は、評価の点数を出したときに、例えば何点以上は「A」だとか、「S」のように、逆に明確になっていくと、委員からお話があったように、きめ細やかにというのは、やはりそういうとこだと思います。

畑コミの例でも、実際にアンケートの内容が、評価にうまく反映されているだろうかとということも、点数制にしていけば、もう少しきめ細かな評価になってくるのではないかなと思っております。

そこについては、市のほうで今後どのように評価していくのかということ、課題にはなってくると思います。

○委員　アンケートも確かに来館者のみに行っていればある程度の評価は受けられると思われ。一番重要なのは、アンケートを実施する対象者の範囲、コミュニティ周辺、その範囲の方が10万人いて、そのうち何人来るのかというのが一番重要なことです。要するに、コミュニティセンターにあまり来たことのない住民にアンケートを取るとというのが本当は一番重要になってくるんじゃないかなと思います。回りの人口が何人いて、実際来るのは何%か。そのパーセントが上がっているのか下がっているのかが重要だと思います。

○事務局　そうですね。このアンケートの取り方も確かに来館している方に対してアンケートを取っているわけで、内容も職員の対応から施設の使い易さなど、そういう面でアンケートを取っています。全体的なコミュニティセンターの利活用について、例えば昔で言えば100万人のアンケートとか取ったことがあります。そこに例えばコミュニティセンターの利用など、そういう項目を入れていくと、なぜコミュニティセンターを利用しないのかとか、と言うような部分も分析として出てくるんじゃないかなと思います。

○委員　利用しない人の意見は重要ですよ、

○部会長　利用している年齢層ってのは、どのような感じでしょうか。

○事務局　実際、幕コミについては場所柄もあり、学生さんたちが結構使われています。他には会社帰り、近くに美浜のオフィス街が近いもので、その人たちが使ったりしていることが多いと聞いております。

○部会長　高齢者のサークルとか、そういった活動で利用するという事はないですか。

○事務局 サークル全体でいえば、年齢層は高いところが多いようです。畑コミも幕コミも。ただ、畑コミと幕コミ、年齢層が若いのはどちらかと言われると、幕張コミュニティセンターの方が若いようです。学生さんのサークルとかが結構ありますので。体育館を含めた全体の利用ですと、体育館は畑コミも小学生が使うこともあります。

○委員 評価シート、資料5-1の5ページのところで、下のほうの自主事業の効果的な実施というのがありまして、稼働率の低い時間帯での実施というのも「3」という評価ですけども、こういった視点で稼働率を上げていこうというように目標を掲げてらっしゃるので、とても稼働率が上がっているかなと思います。同じような考え方を持ってほかのコミュニティセンターもやれば、この部屋がどのように使われているのか、どんな時間帯で使われているのか。この時間帯でその部屋を使う人はどのようなサークルかという事が解ってくると思うので、そういう視点を他のコミュニティセンターでも持っていれば利用率向上につながるのかなと思います、そういった働きかけを市のほうからするとよろしいかなと思います。

○委員 畑と幕張、利用者の内容は大分違うと今日の資料で出ていますが、資料5の4ページ、幕張コミュニティについての、ある意味の特別な利用者というのが、近隣施設との連携とか、施設の景観を飛ばして、資料を見ますと幕張コミュニティセンターの利用者は殆ど、美浜区の方ですよね、だからコミュニティセンターそのものは千葉市全体で稼働率が上がるってことが望ましいので市全体としてはよい傾向だと思います。

あとは前々から指摘していると思いますが、美浜区と花見川区のちょうど境界で、隣の美浜区では学校区まさに、この付近には学校が多い、畑は地元密着、両コミュニティとも本当に特殊性があるなど。

○事務局 そうですね。確かに今、委員のおっしゃったように、畑地区は本当に地域密着型で、この地元の地域の方たちが利用されています。幕張は、その点、グローバルな利用形態なのですが。ただ、コミュニティセンターのもちろん利活用については、これは花見川区の中だけではなくて、全体的な利活用という面で考えれば、幕張、美浜の利用者さんも結構使われているということで、コミュニティセンターの利活用についてはいいのかと思います。その辺がすごく特徴的でありますね確かに。

○委員 関連してた内容で、色々資料を見ていて思うのですが、コミュニティセンターという本来目的、畑コミュニティの方が範囲は狭いかもかもしれませんが、本当の地域のためのみんなのコミュニティセンターになっています。要するに、学校とかそういう組織が使うのは、意味がないのではないかって、それは組織に任せるべきかと、地域に住んでいる人たちが利用して、本来コミュニティの目的とは違っていると思います。

学校の放課後、何か部活の代わりに使おうとか、そういう利用方法は本来のコミュニティセンターの役割ではないかと。それを疑問に思いますが、稼働率上がるかもしれませんが、それでは学校の補完しているようなものですよ。コミュニティセンターは地域のコミュニティのためにあるのではないかと、そういう点、疑問に思います。

○事務局 委員のおっしゃることも、もちろん一理あります。実際に学生さんがそこを使う。使った中で、実際にそれが逆に地元に戻っていく、要は地域に戻っていくという考え方もなくはないと思います。確かに美浜区の利用者さん等が使っています。ただ、美浜区の人たちだけではなくて、もちろん花見川区の人たちも、その美浜区の人と一緒になっ

て使っているとは思いますが。

○委員 美浜区の人も、地域は構わないのですが、組織で使うのばかりだと、コミュニティの意味がないのではという意味で。

○事務局 本来のコミュニティセンターの役割という意味では、委員のおっしゃられることは、もっともであると思います。稼働率のみに目が行きがちですが、今後は地元コミュニティの形成に寄与しているかという観念も必要ですね。

○委員 今の時代、学校でも、大きく立派な学校があるわけじゃないですから、やはりこういうところ逃げてくると思います。

○部会長 他に利用者がいなければ、学校関係に使わせてあげても、特に問題はないのではないかとは思いますが。幕張メッセ付近はどうしても大きな事務所がありますから、その関係の利用者が多いということは、それは当然として、他にも地域の利用者はいると思います。

○委員 細かな話になりますが、隣の5ページで、上のほうで、施設サービスの向上の中の利用者支援、備品等の貸出で、楽器、ドラムセット、かなり高額だと思います。これはコミュニティセンターで買ったものですか。

○事務局 はい、指定管理者が購入したものです。

○委員 これはどこか決算書に出てくるのですか。

○事務局 これは実質的には会社として買っていますので。

○部会長 だから、全体の、会社のバランスシートの流動資産とか、そんなところに。あるいは、そんな高いものでなければ経費、消耗品という形になります。

○委員 そうすると、指定管理者が変わっちゃうとそれはなくなるということですね。

○事務局 基本的な考え方はそのとおりですが。

○部会長 譲り受けをするということになりますよね。

○事務局 そこは今、この時点では想定でのお話ですが、そうなると思われれます。

○事務局 ドラム購入に関しては、利用者さんの意見を聞き、持って来るのが大変というご意見が多数あり、ニーズが高いと判断し購入したものです。

幕コミだと音をある程度出しても回りに住宅がない立地なので、そのような環境を整えたことにより、人づてで、広く知られ、利用者が増えてきたということです。

○委員 それに関連して、続けてよろしいでしょうか。

○部会長 どうぞ。

○委員 今の5ページのところを1枚めくると、自主事業実施調査という資料ですが、大体マイナスですが、上から2番目のスポーツ用具貸出事業というのがありまして、利益がとても上がっているようですね。これは、さっきはドラムでしたが、卓球ラケットとか、バドミントンとかで恐らくどこかで50円くらいで貸していると伺っています。そのぐらいの安価ですが、トータルで考えると途中、新しく2万円ほどで購入していますが、それでも10万円近く利益を上げている。ここはすごく商売上手だなという感じがします。

○事務局 体育館の利用ですが、卓球は、時間貸しを行っていますが、高齢者の方、若い方含めて様々な方が利用されるような状況で、かなりニーズが高い状況です。また、バドミントンなども利用者が多く、バドミントンをやるエリアを増やしてほしいなどの要望があります。

このような状況で、道具を持って来なくても、ここで借りて手軽にできるというところが、いい所だと考えています。

○委員　　なので、体育館の利用も結構上がっていますね。

○事務局　　そうですね。

○委員　　先ほど使われていない部屋をどう稼働率を上げたらいいかとか、こうやって使ってくれるところはここだと思うと、そうやって道具をそろえたりして、利用率、利用者を増やしていく部分はあるかなと思います。

○委員　　利便性ですよ。結局、貸すのもそうだし、こういうのは予約しないで、思いつきでやれますよね。帰り道にちょっと寄ろうかと言えるような方は、道具持っていないなくても現地で借れる、じゃあ行こうかと利用していただく。このような場合はラケットなど持ってないでしょうね。

○委員　　立地なんかもすごく意識していますよね。そういう立地だから、それを生かしたというか。多分同じ事業者さんが畑でいらしてやってなされたとしても、そういう発想にならないでしょうけれども、あそこにあるから、こういう発想が出てくる。

○委員　　そういう意味では間違いなく三菱さんが前向きでいい捉え方しているなと思いますね。

○部会長　　ほかにご意見ございますか。

○委員　　お聞きしたいのですが、東日本大震災が2年ほど前にありました。あのような災害が起きた場合、コミュニティセンターとしてはどう行動し、どう対処するかっていうようなことは何か特別な決まりがあるのでしょうか。

○事務局　　コミュニティセンターについては、避難場所になっております。ですので、有事のときにはもちろん指定管理としてその体制は整え対応することとなっております。

○委員　　緊急の体制っていうのは記載されていますが、これは火事とか何かそういうようなものが中心のように思われます、地震などの場合ですと、色々なケースが考えられるのではないかと。例えば備品について言えば、寝具だとか、食糧だとか、医薬品だとか、色々必要な物も想定されますが、そこまでは考えているのでしょうか。

○事務局　　防災備蓄庫も建物の中にあるので、ある程度、一定のものは対応しています。

○委員　　ちゃんと備蓄しているのですか。

○事務局　　はい。例えば帰宅困難者が発生したときに、避難場所になるとか、そのような場合もありますし、今度9月1日に防災訓練がありますが、そのときに参集訓練をやって確認をするということになっております、これは全コミュニティセンターで統一しています。

○委員　　たしか普通の震災の避難所と津波の避難所、両方指定されますよね。

○事務局　　そうです。

○委員　　二つとも指定されていますか。

○事務局　　災害時においては、コミュニティセンターは避難する場所ということで定められています。ただ、先ほど言ったように、防災備蓄を、防災の食料品とかといったものを置いているといっても、1週間とか、それぐらいのものを確保してあるかといったら、そうではないですね。大体1日、2日ぐらいの程度のものしか設置はされていませんが、体制はもしそういう有事があったときには、そういうものを活用していただけるというこ

とになっております。

○委員　そこには何も資料には出てこないようなので気になりまして、わかりました。

○部会長　ほかに何かご意見ございますか。

(なし)

○部会長　ないようですから、事務局にただいまの件を取りまとめていただきます。

○事務局　では、また同じように、今12時ですので、10分程度また意見の取りまとめをさせていただきたいと思っておりますので、その発表については12時10分からということではよろしいでしょうか。

(休憩)

○部会長　意見の取りまとめができました、皆様の意見を取りまとめたところ、五つの問題点等がありました。

第1は、毎年度実績に応じて予算の組みかえを行う必要がある。

2番目、評価シートのつくり方について、3段階ではなくきめ細やかにするべきである。

3番目、アンケートについて、コミュニティセンターを利用していない人にもするべきである。

4番目、稼働率が低い諸室については、指定管理者として工夫を凝らし、稼働率向上につなげており、また市からそういった働きかけを他のコミュニティセンターに行う必要がある。

5番目、負債に比べ純資産のほうがはるかに多いので、倒産、撤退のリスクはないものとする。

以上でございました。

これでよろしかったら、一応このような形で。

じゃあ議事はこれで終了しますが、最後に、議題3の今後の予定について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局　ありがとうございます。今後の予定についてご説明させていただきます。資料のフラットファイル資料6をごらんください。

本日、委員の皆様からいただきましたご意見につきましては、部会長さんから選定評価委員会の会長さんにご報告をいただき、その後、会長さんから市長あてに委員会の意見として答申をしていただくことの流れになります。この委員会の答申を受けまして、施設所管課が委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月上旬までに市ホームページに掲載し、公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

また、今回の部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同様に市ホームページにて公表することとなります。なお、会議録につきましては、後日委員の皆様にご確認をお願いいたしますので、よろしくをお願いいたします。

以上でございます。

○部会長　ただいまのご説明について、何か質問、意見ございますか。

(なし)

○部会長　ないようですから、皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了しました。ありがとうございます。

それでは、事務局にお返しします。

○司会 長時間にわたり、慎重なご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回花見川区役所部会を閉会いたします。

なお、本日この後、もし施設見学、畑コミュニティセンターのほうを見学できるように準備しておりますので、お時間があれば、施設見学をしていただければと思います。今のところ委員でよろしいですか。他の方でいらっしゃる方いらっしゃったら、申し出てください、よろしいでしょうか。

○司会 それでは、委員の皆様方については、本日お忙しい中ありがとうございました。